

# 令和2年度決算の常任委員会における審査の主な内容

概要

一般質問

令和2年度決算  
議決結果

令和2年度決算  
審査の主な内容

11月定例会  
議決結果

11月定例会  
審査の主な内容

令和3年の  
長崎市議会

人事、請願等

議会では毎年度、一般会計・特別会計などの各会計決算について、予算目的に沿って適切に執行されたかどうかを審査します。本年度は、教育厚生、環境経済、建設水道委員会が10月19日から21日（21日は教育厚生委員会のみ）、総務委員会が10月22日、25日に決算審査を行いました。

## 総務委員会

総務費において、自治会広報掲示板設置補助金の現行補助制度は自治会の負担が大きいことから、掲示板の使用状況などを調査し、補助金額を引き上げる考えの有無などについて慎重に審査しました。

次に、消防費において、今年度で終了する防災行政無線の戸別受信機購入費補助金の受付期間を延長する考えの有無、防災行政無線が聞こえにくい世帯に対してテレホンサービスの番号を記載したシールを活用する考えの有無、市民防災リーダーと市の避難所要員の育成状況と役割分担の在り方などについて慎重に審査しました。

次に、歳入において、新型コロナウイルス感染症の影響による市税等の減収に対する補てんの対応などについて慎重に審査しました。

その結果、一部委員から、マイナンバーカードに係る費用は認められないなどの反対意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

## 環境経済委員会

商工費において、水産練り製品のブランド化に向けた取組、料金設定に対する考え方など今後の長崎さるくの運営に対する市の見解などについて慎重に審査しました。

その結果、一部委員から、出島メッセ長崎については、経済波及効果を長年維持できるかが未知数で、多額の税金が投じられていることについては認められないなどの反対意見が出された一方、ふるさと納税については特産品のさらなる需要拡大等につながるように関係部局等とも連携して取り組んでほしい、農業の効率化・集約化の推進のため、ハード・ソフト両面での支援を強化してほしい、観光や食に関するブランド化の取組における課題についてはしっかりと予算を確保し取り組んでほしい、決算審査の内容を次年度予算に適切に反映してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

## 教育厚生委員会

民生費において、民間保育所等新型コロナウイルス感染症対策費に係る国庫補助金等が縮小された後も同感染症の拡大を防止するための予算の在り方、母子生活支援施設白菊寮の入所者が利用しやすいように、施設の在り方を検討する考えなどについて慎重に審査しました。

次に、衛生費において、新型コロナウイルス感染症の影響により、がん検診の受診率が減少していることから、受診率向上に向けた具体的な取組などについて慎重に審査しました。

次に、教育費において、GIGAスクール構想に基づくコンピュータについて、児童生徒用と教員用の機種が違う理由や、ICT支援員の配置を手厚くする考え、学校に担当している予算を減額している理由と、今後予算を増額する考えの有無などについて慎重に審査した結果、異議なく本決算を認定しました。

## 建設水道委員会

土木費において、地籍調査に係る予算を増額し、事業の進捗を図る考えの有無、道路補修等に係る自治会要望への対応状況、急傾斜地崩壊対策事業で生じる住民の負担額を見直す考えの有無などについて慎重に審査しました。

その結果、一部委員から、新幹線建設事業はフリーゲージトレインの導入が断念となった時点で見直すべきであったことから認められないとの反対意見が出された一方、<sup>わたくしみち</sup>私道整備事業や急傾斜地崩壊対策事業など、多くの市民に影響が及ぶような事業は、市民の生命と財産を守る視点に立って事業を実施してほしい、公園トイレの整備は、利用人数などを踏まえ必要性を再検討してほしい、事業の繰越しが多く見受けられたことから、今回の決算審査における指摘事項は改善策を立てて、今後の事業を進めてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。